



全国で 1700人の仲間が増えた



4月1日より取り組まれた新採用者に対する組合説明会は、4月末までに全国144の支部で開催され、これまでに1,738人(4/30現在)の新採用者が全医労の仲間に加わりました。それぞれの支部で説明会のためのプロジェクトチーム立ち上げ、準備に力を入れてきたことと思います。お疲れ様でした。

第一弾で安心することなく、第二弾、三弾の企画で100%の新採用者を組合に迎え入れましょう。未加入者・非常勤職員にも声をかけましょう。

『組合の力=数』です。青年と力を合わせて第二弾・三弾を成功させ仲間を増やしましょう。そして、来年の説明会には「組合に入ってよかった」と話せる人を一人でも多く集めるために、今から一年間の活動が始まります!がんばりましょう。



「特定行為」のその後...



難易度も高く判断も難しい医行為「特定行為」を、義務付けられた研修を受けた看護師(特定看護師・診療看護師)だけでなく、医師の具体的指示があれば一般の看護師も実施できる制度として創設されようとしています。そのためには医行為を禁止している「保助看法」を改正する必要があるとあり、保助看法の改正案は現在、「医療・介護一括法案」として国会へ提出され4/18より審議が始まりました。これまで署名やはがき行動で国会議員に要請してきた結果、「ほとんどの看護師がやっていることを法整備しようとしているんだ」という議員も厚労省に説明を求めたり国会で発言するなどの変化も起こっています。

現在「特定行為」は41項目。いくつかの項目をあげてみると「経鼻・経気管内挿管の実施、抜管」「動脈血の採取」「薬や補液の量の追加や調整」と非常に専門的な知識や判断力を求められるものが多くあります。医師会や麻酔科学会でも「患者の命にかかわる危険な行為だ」と「特定行為」から削除を求める動きもおこっています。

仮に保助看法改正案が国会を通ったとしても「新たな審議の場」を設けて検討し、具体的な項目の拡大や削減については厚労省令で決まっていくことになります。

法案が仮に国会で採択されたとしても、今後の運動で項目を削除させたり、拡大させない取り組みは続けられます。

怖いのは「特定行為」実施に何の疑問も持たずに指示されるがままに実施することです。さらに過密業務や医療事故の不安で離職が増える可能性もあります。各支部で「特定行為」について知らせる取り組みをしましょう。



東北地方協・仙台市内で久々の街頭署名

300筆集まった！！

東北地方協は4月24日～25日、女性集会を開催しました。集会では増員要求や職場問題、身近で起こった医療事故について参加者で問題を共有し議論をしました。

集会2日目を終了して参加者25人は街に繰り出し、街頭宣伝・署名行動を行いました。いいお天気の昼下がり、声をかけると通りかかった人は快く応じてくださいました。

久々の街頭宣伝でしたが、入院体験や介護施設での話など地元のお年寄りの話に耳を傾け、たくさんの対話ができました。署名を終えて「頑張ってください」との温かい声掛けにも励まされました。

そして、なんと40分で300筆を集めました。



全医労第52回女性集会 in 琴平（香川県）

3年ぶりに東京を離れ、香川県で開催することにしました。

とき 2014年10月9日13:00（木）～10日12:00（金）

ところ 香川県・琴平温泉 琴参閣



琴参閣の外観

内容：講演一心静かにお坊さんの講話を聴く（案）
分散会一日頃の職場で起こっている様々な事柄について話し合う。

— 特定行為が看護師にできる行為になり、職場は？看護は何をすべきか
— 第3次事業主行動計画が実施されマタハラはなくなったか？
— もうガマンしない！年休・超勤・・・
法令順守の職場に変えよう！

分散会の内容は検討中です。
まだまだ要望をお受けできますよ。

招請：各地区1名

各地方協女性部長1名

（女性部長が参加できない場合は代理参加OK）

10日12:00終了後は、

- 🚗 香川県の名物・うどんツアーに行くもよし
- 🚗 瀬戸の島々を訪れてみるもよし



泉質

単純放射能冷鉱泉

バラ風呂もあるらしい



【効能】神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、疲労回復、健康増進、痛風、動脈硬化症、慢性胆嚢炎、胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病など